

2020年8月6日

大阪府知事
吉村洋文 殿

大阪府知事の「うがい薬に新型コロナウイルスの効果確認」会見
医療機関と府民を混乱に陥れたことを真摯に受け止めよ

大阪府歯科保険医協会
理事長 小澤 力

大阪府民の健康促進、医療の確保に向けた、貴職のご尽力に敬意を表する。
当協会は、大阪府内4,184名の会員で構成する歯科開業医の団体として、保険医療の充実、府民の健康向上のため様々な活動に取り組んでいる。

さて、8月4日に知事が記者会見を開き「『ポビドンヨード』を含むうがい薬に新型コロナウイルスに対する効果が確認された」と発表した。そもそも「うがい薬」に効果があるかどうかについて、知事の不用意な発言は、医療現場と府民に混乱をもたらし、治療にも支障をきたしている。実際、瞬く間に「うがい薬」が市場から消えてしまい、最も多く使用している歯科医療機関でさえ手に入らなくなっている。

歯科医療現場において、イソジンガーグル液(ポビドンヨード)は抜歯した際、抜歯創の感染予防を目的に使用されている。歯科治療には不可欠な医薬品である。現に、歯科医療機関から「『うがい液』が入手できなくなって困っている」との相談が相次いでおり、入荷できないため、治療に必要な患者に行きわたりにくくなっている。「新型コロナウイルスに対する効果確認」との会見が、医療機関と府民を混乱に陥れたことを真摯に受け止めるべきである。

6月17日の記者会見での「ワクチン」発言に続く今回の「イソジン」発言である。知事の発言は、全国的にも注目されており、その影響は大阪府にとどまらない。住民の命と健康を守るべき立場を踏まえて、慎重に発言するよう強く求める。